

# 日坂地区まちづくり協議会年度別事業計画

分野	共通(全体)テーマ
----	-----------

## 1 理想の姿・あるべき姿(分野別ビジョン)

- ・住民の意思をまちづくりに適切に反映し、安心して幸せに暮らせる住みよいまちづくりを協働して行う
- ・テーマを決めて、みずから行動を起こし、楽しくまちづくりを行う

## 2 課題

- ・水害による避難拠点がなく、雨降りの時は不安な日々を暮らしている
- ・高齢者が気軽に集まれる場所、子育て世代が集まれる場所がないので、コミュニケーションする場所がない
- ・高齢な農業者が増えており、それによる休耕田が拡大しており、鳥獣被害が発生している

## 3 具体的な活動

- ・GAW展の実施が決まっており、それに伴い飲食できる場所等を確保し、その後の活用も検討する。
- ・本陣跡地(旧幼稚園)にコミュニティーセンターを建設し、皆の集まれる場所を確保する。
- ・退職者や隠居者の中で、元気に動ける人を募集して、ボランティア活動を推進し、休耕田などの活用策を推進する

## 4 年度別事業計画

事業名	事業内容	H28	H29	H30	H31	H32
GAW展の実施	ボランティアによる推進及び今後のまちづくりを踏まえた萬屋などでの喫茶等のオープンにより、まちの活性化を図る。	実施				→
コミュニティーセンターの建設	防災拠点・高齢者の交流センター・子育て支援センターなどの多目的施設を建設し、地区の人が集まれる拠点を作る	検討	検討	実施		→
日坂協働おたすけ隊の募集	元気で動ける人を募集し、地区の行事や各種団体のお手伝いを通じたボランティア活動を推進する	実施				→
休耕田等の環境整備の推進	お茶畑等の草刈りや休耕田の活用による地域資産の環境保全に努め、良好な景観を維持する	実施				→
地域クリーン作戦の実施	年2回、地域一斉クリーン作戦を展開する(道路標識、カーブミラーの点検清掃、道路脇の草刈り、溝さらい、捨てられたゴミの収集等)	実施				→

# 日坂地区まちづくり協議会年度別事業計画

分野	防災部会
----	------

## 1 理想の姿・あるべき姿(分野別ビジョン)

- ・自主的な防災活動により、災害被害の防止及び軽減を図る
- ・備災であんしん、あんぜん 住みよいところ日坂

## 2 課題

- ・日坂地区全体としての防災組織がない
- ・災害時の避難場所が、避難地として適していない所がある
- ・高齢者世帯が多く、避難時に不安がある

## 3 具体的な活動

- ・日坂自主防災会の規約を作成し、日坂自主防災会を立ち上げる
- ・日坂防災計画を策定し、計画に沿った初動マニュアルを作成する
- ・各小区ごとの避難場所を検討し、明確にする

## 4 年度別事業計画

事業名	事業内容	H28	H29	H30	H31	H32
日坂自主防災会の設立	日坂自主防災会規約の作成 日坂自主防災会の立ち上げ	→ 実施				
日坂防災計画の策定	日坂防災計画の策定 日坂自主防災会初動マニュアルの作成	→ 実施				
避難場所の再検討	日坂地区内の危険カ所を洗い出し、避難ルート、避難場所を再検討し明確にする	→ 検討	→ 実施	検証		
防災訓練の運営	掛川市役所と協力し、防災訓練を運営する	→ 実施		継続		→
広域避難所の設立	区長会と一体となって、本陣跡地にコミュニティセンターを建設して広域避難所とする	検討	検討			

# 日坂地区まちづくり協議会年度別事業計画

分野	健康福祉部会
----	--------

## 1 理想の姿・あるべき姿(分野別ビジョン)

<p>「健康長寿」の実現</p> <p>地域の中で多くの人と交流、健康診断も定期的に受診しながら、心と身体の健康を維持し、充実した人生を送る</p>
--

## 2 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の集い(元気の集いなど)における参加者の固定化、減少</li> <li>・高齢者が、日常生活の中で身近に集まる機会が乏しい</li> <li>・定期健康診断の受診率低調</li> </ul>
--

## 3 具体的な活動

<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の集い(元気の集い)の各地区巡回</li> <li>・高齢者の日常交流実態調査と啓発活動</li> <li>・定期健康診断の啓発活動(受診率改善)</li> </ul>
---

## 4 年度別事業計画

事業名	事業内容	H28	H29	H30	H31	H32
「元気の集い」の地区内巡回開催	現在、学習センターでの固定開催を見直し。各地区へ巡回し、より多くの参加を図る。	←→ 細部の検討	←→ 実施	★ 検証	→ 見直し?	
高齢者の日常交流促進	身近な日常交流の実態を調査し、その見直し改善を図る	←→ アンケート調査、分析	←→ 実施	★ 検証	→ 見直し?	
高齢者の移動手段支援	現状の移動手段を調査研究し、その改善を図る	←→ アンケート調査、分析	←→ 実施	★ 検証	→ 見直し?	
定期健康診断の受診率向上	現状、受診率が低迷しており、その状況を打開すべく、啓発活動等を実施し、その改善を図る	←→ 実施	★ 検証	→ 見直し?		
高齢者見守り体制のさらなる充実	福祉協議会等から情報収集しながら、今後、検討予定					

# 日坂地区まちづくり協議会年度別事業計画

分野	地域振興部会
----	--------

## 1 理想の姿・あるべき姿(分野別ビジョン)

- ・皆で協力し合い、活動的な活気あふれる地域づくりを行い、安心して楽しく暮らせるまち
- ・祭りなどを通して、皆でふれあい、助け合いのできるまち

## 2 課題

- ・高齢者が増えてきており、地域の行事に参加する人が少なくなっている
- ・茶の低価格が続いており、茶農家が希望を持って茶の生産を継続しづらい状況である
- ・高齢者が気軽に集まれる場所、子育て世代が集まれる場所がないので、コミュニケーションする場所がない
- ・鳥獣(特にイノシシ)被害が多く、安心して耕作出来ない

## 3 具体的な活動

- ・空き地や空き家を利用し、皆で集まりコミュニケーションする場所を作る
- ・茶農家との交流を通し、お互い助け合う環境を整備しながらお茶の復興を行う
- ・耕作放棄地等の環境美化を行い、地区としてイノシシ対策を実施する

## 4 年度別事業計画

事業名	事業内容	H28	H29	H30	H31	H32
空き地・空き家の活用	萬屋などを利用し喫茶等のオープンにより、皆で集まれる場所を作る	実施				→
茶農家との交流	忙しいお茶時期にお手伝いすることによる活動を通して、日坂茶の良さを勉強し、お茶のPRに努める	検討	実施			→
鳥獣(イノシシ)被害の対策を実施	耕作放棄地等の環境美化を行い、地区としてイノシシ対策を実施する(委員会等を立上げる)	実施				→
歴史的建造物の運営	地区で活動している組織と協働しながら、維持継続できる体制を考える	実施				→
地区内の事業所・会社・商店との協働	地区内の事業者と話し合いながら、働く場所の確保や地区内の行事に参加できる方法を考える	検討	実施			→

# 日坂地区まちづくり協議会年度別事業計画

分野	教育文化部会
----	--------

## 1 理想の姿・あるべき姿(分野別ビジョン)

誰もが地域と向き合い、地域と関わり、安全で安心して住める「住みよい地域」
--------------------------------------

## 2 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化・核家族化・共働き・価値観の多様化などにより、既存の組織の役や行事を維持・運営していくことは困難になってきている。</li> <li>・住民、誰もが「住みよい地域」と言える地域づくりが急務の課題であり、やらされ感・負担感・組織のスリム化など、地域の「声」を反映する地域づくりが求められている。</li> <li>・大正生まれが90歳を過ぎ、日坂の文化の伝承を地域として取り組まないと途切れてしまう時期にきている。</li> </ul>
--

## 3 具体的な活動

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の意見を地域づくりに反映する。</li> <li>・みんなが元気に暮らせるためのまちづくりに取り組む。</li> <li>・日坂の文化の次世代への伝承に取り組む。</li> </ul>
---

## 4 年度別事業計画

事業名	事業内容	H28	H29	H30	H31	H32
子育て支援	・子育て世代の声を聞く場づくりと要望の提言をする。	検討実施		実施		実施
みんなが参加する地域づくり	・50～70代が活躍できる地域づくりに取り組む。	検討実施	→	検証実施	→	検証実施
日坂の文化の伝承	・昔のくらしの写真集づくり	収集	→	完成		
	・小学生に日坂の歴史や昔話を伝える。	実施	→	→	→	→
お茶の文化の発信	・お茶について学び・楽しむ地域づくりで「お茶の文化」を外部にも発信していく。	検討実施	→	→	→	→
地域のまつり	・祭り青年と協力して、地域全体で楽しめる祭りの企画に取り組む。	検討	実施	→	→	→

# 日坂地区まちづくり協議会年度別事業計画

分野	防犯・交通 部会
----	----------

## 1 理想の姿・あるべき姿(分野別ビジョン)

- ・安心、安全な明るいまちづくり
- ・交通事故、違反のない住みよいまちづくり

## 2 課題

- ・空き巣、忍び込み等事件発生 of 事前防止
- ・見知らぬ侵入者への牽制
- ・道路交通環境の整備、通学路の交通安全対策
- ・啓蒙活動の不足 (防犯・交通)

## 3 具体的な活動

- ・地区の安心安全の見守り (防犯パトロール、街灯設置箇所の確認)
- ・防犯に関する共通認識の浸透 (広報活動による注意喚起)
- ・通学路の交通安全対策 (グリーンベルト等の設置要請)
- ・交通安全教室 (子供から高齢者まで幅広く啓蒙活動)

## 4 年度別事業計画

事業名	事業内容	H28	H29	H30	H31	H32
防犯パトロールの実施	車へ「防犯パトロール中」のステッカーを添付し、四季ごと地区内を交替で巡回する	実施	→			
防犯に関する広報	身近な出来事(空き巣、忍び込み、農機具の盗難等)を速やかに住民に知らせ、地区内に防犯意識を高める(ゴミ収集場所に広報内容を掲示する)	実施	→			
道路交通環境の改善	通学路にグリーンベルトの設置及び危険箇所への歩道、自転車道の設置を中長期的に要請していく	検討	実施	→		
交通安全教室の実施	毎年の文化祭時、子供から高齢者を対象とした交通安全教室を実施 プロジェクターを活用し交通安全をアピールしていく	実施	→			